

令和3年度茨城県小中学校長研究協議会（行方市・小学校部会）報告
テーマ：感染症対策を踏まえた働き方改革

【協議の概要（要旨）】

これまでの勤務や教育活動で当たり前として取り組んできたことを見直し、精選・削減・変更の視点からこれからの勤務のあり方や教育活動について協議した。

1 効果を上げた具体的取組

- (1) 超過勤務時間内容の見える化と個別指導・・・教員評価面談において、超過勤務70時間以上の教員に対して、超勤で行った校務内容の詳細な聞き取りとその妥当性についての話し合い及びメリハリのある勤務の仕方について啓発した。
- (2) 通知表を年2回配付・・・9月中旬、3月末の2回とした。
- (3) 学校行事の効率化・・・運動会、PTA総会等の半日実施
- (4) 教職員の業務の効率化についての理解啓発・・・PTA総会で校長からの「教職員の働き方改革への取組」説明等

2 令和4年度以降の取組

(1) 新しい生活様式に基づく取組

○ 感染症対策

・児童生徒については、家庭内感染が圧倒的に多いため、本年度以上に、家庭との連携を強化する必要がある。そのため、「新型コロナウイルス感染拡大防止啓発計画」を策定

○ 行事の精選

・宿泊・遠足行事の弾力的な計画
・学校行事の内、宿泊・遠足行事、運動会、入学式・卒業式以外を精選
・市教育会主催行事の縮小化

○ 授業・学習

・オンライン学習を日々の学習の中でも取り入れるなどスキルを高める

(2) 通常の生活に戻った後、取り組むべき取組

・各行事の時間短縮の維持
・各学校行事、教育会行事の精選と効率化
・働き方改革の視点に立ち、一層の見直し

3 今後の課題と対策

・意識改革の観点から・・・時代を担う若手教員に対する啓発研修が必要
・外郭団体との連携の観点から・・・企業の働き方改革を学ぶ研修会の実施
・行政との連携の観点から・・・市教委の方針を明確にし、出張、研修会等の精選・縮小
・保護者・地域理解の観点から・・・もっと大切なのは何だと考える